

SKI Instructor of JAPAN



INSTRUCTOR

日本スキー指導者協会会報

2008年10月 1日発行 第24号

巻頭言

中国のスキー指導者育成



会長 田 英 夫

北京オリンピックも無事終了しホスト国である中国はスポーツ大国として圧倒的な力を示した。私が訪れた文化大革命前後の中国と比べると、あらゆる分野であのころでは信じられないような大成長を遂げていると聞く。

経済は大きく発展し、少し前までは物を安く“供給”する国であったのが今では“消費大国”の仲間入りをする勢いだ。しかし、当時と比べると豊かなのは北京や上海に代表される大都市だけで地方との格差はかえって大きくなってしまったようだ。

大都市の富裕層は夏にはゴルフや避暑地に出かけ冬はスキーをすることがいわゆる“ステータス”になってきている。しかし、急速に増加するスキー人口に対してレベルの高いスキー指導者の数が不足しているため、中国スキー連盟では前回韓国で開催されたインタースキーに視察団を派遣し世界のスキー指導者の学習を急ピッチですすめている。欧州のスキー先進国であるオーストリア、スイス、フランス、イタリアそしてアメリカやカナダの指導システムを検証した結果、日本のスキー指導システムが中国でスキー指導を展開する

にあたりもっとも適したものであるという結論に達したようだ。

中国はスキーの分野でもメダル至上主義でスキー連盟のなかでも一番力があり予算があるのがフリースタイル（中国では“自由”とよぶらしい。エアリアル種目ではすでに前回のオリンピックで金・銀メダルを取っている）。次にノルディック（越野）そして一番弱小なのがアルペン（高山）だ。このアルペン部門の中に一昨年（2006年）の12月いわゆる教育本部ができた。競技スポーツではない一般の人を指導する部門ができたことは中国のスポーツ界では画期的なことらしい。そしてこの分野の名称は“大衆”だそうだ。スキースポーツが大衆にまで普及し定着して格差なく、スキーを身近なスポーツとして楽しんでもらいたい。

それには隣国日本のスキー指導者の皆さんが、スキーの先進国ではなく先輩国として何らかの形で中国のスキー指導者育成に貢献いただくことを期待したい。

（注；この中国のスキー事情については、長男が教育本部国際渉外委員会に所属し、北京オリンピックなどで度々訪中して、中国スキー連盟の関係者と懇談をした。そのおりに実際に対談した内容を参考にしました。）

特集

日本スキー指導者協会のあり方について
拡大常任幹事会 報告より

平成 20 年 9 月 2 日

1. 日 時 平成20年8月31日(日) 11:00～15:00
2. 場 所 ルポール麴町 3Fオパールにて(前回の総会開催場所)
Tel 03-3265-5365

出席者 杉崎壽三男、林 権一、片岡 春夫、菅原 哲朗、半沢 進、渡辺 忍、阿部 雄三、大澤 佑吉、吉田 勇夫、鈴木 勘重、佐藤 昭蔵、水島 秀夫、長澤 光雄、藤木 昇、高橋 イキエ、水島 三千夫(名簿順)

表記テーマのもと、これからの方向性を求め拡大常任幹事会が開催されました。

現在のブロック制を主体とした運営のあり方、規約による団体の解釈、各ブロックの実情や財政状況、会員の範囲など、当協会の組織・事業運営に係わる論議が活発に交わされ、規約の改正を視野に見直しを進めることで意見の一致をみました。また、脱会状態のブロックについては、全国スキー指導者の横の連携が絶えないよう、再度、加入依頼の努力をしていくことが確認されました。

なお、今後、ブロック(各県)に帰って仲間との熱いスキー談義を通して、日本スキー指導者協会の魅力づくりをしていくと同時に、口コミにより仲間の輪を広げていくことを、出席者一同、強く認識して会を閉じました。

(注) 議事録の作成に当り、速記ではなく発言者の内容を分かりやすく意識した部分も含まれますので了承下さい。今回は小委員会的な要素が多く問題点をなただけ沢山あげてもらいました。この中から明日につながるヒントを見つけ、更に小委員会を持ちたいと思っております。(幹事長)

(1) 会長挨拶 阿部副会長

本日は菅原顧問弁護士の出席を得て開催する運びになりました。田会長も先日TV出演されましたが、まだ体調不十分で欠席されます。大雨注意報の中、東北ブロックから出席の三方(さんかた)本当にご苦労様です。ここにきて組織上のことが問題になってきており、皆様方のご意見を受けながら、問題点を探ってみようと思います。

なお、本日の開催にあたりましては、北海道地区は日程の都合がつかなく、東北ブロックは8月末までなら出席可能という中で、総会時に今回は東京で開催することに決めましたことをつけ加えます。

(2) 議長選出(座長) 顧問の林 権一氏を選出

(3) 書記選出 事務局

(4) 議 事

1. 議 題 日本スキー指導者協会のあり方について

林座長の司会により日本スキー指導者協会設立時の経緯について、会報「INSTRUCTOR」(以下会報と略す)1号の今は亡き柴田先生の思いを朗読、設立の意義と流れを認識した。近年西日本や新潟、群馬の脱会問題が出ているが、日本スキー指導者協会は存続していくことが大事と訴えられた。(以下発言者の順に記載)

◇渡辺副会長(千葉)

西日本、新潟、群馬、の脱会を阻止することは出来ない。なぜなら機関決定しているから。

本日は①組織の問題、②事業の問題にわけて討論したい。現在の規約による加盟方法を変更して、ブロック単位の加入から、都道府県単位、更に個人単位でも加盟可能に提案します。

◇佐藤常任幹事(千葉県)

私のクラブでの実情は、日本スキー指導者協会(以下協会と略す)への加入率は会員の30%にとどまっている。個人加盟は効果が期待出来ないのでは。県連の肩書きがより効力がある。先の協会総会で、本会は任意団体と確認されているし、更に決算期日が

SAJと異なっており、運営上会費の徴収など都合が生じているので、SAJと同一年度にしてもらいたい。更に県連で登録料の徴集を行ってもらえば、徴収率も上がるので是非そのようにお願いしたい。

(注:会計年度についてSAJに問い合わせたところ、昨年度から8月1日に始まり7月31日に終了とのことでした)

◇渡辺副会長(千葉)

SIJへの加入は現状のブロック単位で良いのではないかと。例外的に個人単位を認める。

(注:SAJスノーリフト会員制度、年会費三千元)

◇鈴木常任幹事(山形)

協会を発展させる為に、未加入者にコンタクトの労を取る人が少ないのではないかと。協力を出来る方に相談していくことが必要ではないかと。協会に入ってもらえるように、SAJにバックアップをしてもらってはどうか。更に県指導員会では、情報を下部に速やかに流すことである。

◇座 長(東京)

SAJと協会に人材の交流など動きがなかった。SAJは指導員が原動力だ。登録料が予算上で大きな比重のはず。SAJはSIJをもっと財政的にも優遇してもいいのではないかと。

◇水島幹事長(神奈川)

1984年(昭和59年)にSAJが協会を認知した時点で、本来の外郭団体として認知したのだろうか。外部団体として考えていたのではないだろうか。同時に協会側も外部団体として認識していたのではないだろうか。今までの討論の中でSAJに期待する援助のことは、この出発点がはっきりしていないところにあるのではないかと。SAJ教育本部組織図にも協力団体として8協会の中には入っている。更に教育本部規程(任務)第2条(6)協力団体関連委員会の④日本スキー指導者協会と記載されている。従って現在教育本部副部長の杉崎氏が派遣役員として協会の会議に出席され、SAJの情報な

どの提供をうけております。しかしながら協会が期待するような資金の還流は見られないのは関連団体の扱いなので当然ということでしょう。

◇杉崎SAJ理事（東京）

SAJも現在大変な時に来ています。SIJの面倒を見ている余裕がないことを理解して下さい。今度変革されたSAJになった時に、そのようなことも考えられるのではないかと。会員の減少も由々しき事情である。会員サービスとして勿論経費はかかるが個人会員証は個々に手渡したい。5年ぐらいのスパンでも良いのではないかと考えている。

◇大澤副会長（神奈川）

会報1号でSAJとSIAの問題についてもふれている。

◇鈴木常任幹事（山形）

協会からSAJの理事に出ていないのは不思議である。

◇渡辺副会長（千葉）

指導員が収める年会費の格差に話題が及んでいるが、各種資格を含んだ料金が登録料。生涯スキーリーダーを含む幅広い規約の改正が必要だ。

◇水島幹事長（神奈川）

平成16年10月に各県指導員会の実体調査を行った。県連の教育本部の中に組み込まれているところと、そうでない独立した指導員会がある。南関ブロックは後者に属する。雪有り県は前者のところが多いと報告されている。但し北海道ブロックでは指導員会は独立した機関です。

◇水島幹事長（神奈川）

従って冒頭に佐藤常任幹事が述べているような、県連にお願いする部分が一律にはいかなくて、まちまちの現象でなかなかうまくいかない。

◇半沢副会長（宮城県）

宮城県は連盟の中にある。外部団体だが集金は連盟の窓口でやっている。

◇佐藤常任幹事（千葉県）

千葉県はやはり連盟に力があるので、集金業務を頼んでいる。

◇座長（東京）

連盟の組織に入っているところが少ないのでは。（ここで昼食の休憩を提案したが、しかし話しが止まらず、弁当を食べながらの続行となる）

◇鈴木常任幹事（山形）

山形県指導員会は県連に資金を出している。一人当たり3千円徴集している。

◇吉田常任幹事（岩手）

指導員会は関心が稀薄で、一部の方が支えている状況です。発足当時にご苦労された元気な方に再度骨を折ってもらうことが解決につながるのでは。

◇片岡顧問（神奈川）

指導員数が多いクラブでも、総会に出席したのは1人だけ（神奈川県指導員会）意識改革が必要でしょう。

◇大沢副会長（神奈川）

功労指導員の推薦について、クラブから通達があるがそれを活用した方が良いのでは。これはどこが推薦するのですか。この人たちとの交流も活性化につながるのでは。

（注：ブロック推薦という答えが多かったが、教育本

部オフィシャルブックによると、加盟団体は該当者を選考し9月30日まで本人の同意を得て本連盟理事会に推薦することができ、理事会において認定し、評議員会に報告するとある）

◇片岡顧問（神奈川）

旧ブロック員とのOB会を作ろうとしたが、名簿作製時点でうまくいかない現状。

◇佐藤常任幹事（千葉）

神奈川県指導員会では、総会で功労指導員の推薦をしたり、著名な講師の講演依頼をするのですか。

◇水島幹事長（神奈川）

昨日（8月30日）、神奈川県スキー指導員会の総会がありました。今回の講演は全日本デモの佐藤拓也（神奈川）氏を招きました。なかなか良い講演でした。技術論に踏み込めばもっと活発な意見交換ができたと思います。総会で講師を招いての講演は新制指導員会が発足して以来継続しております。

◇佐藤常任幹事（千葉）

指導員会を活性化するため、行事を企画すると翌年は県連が取ってしまった。

◇渡辺副会長（千葉）

スキーリーダー講習会は指導員会に任せようと思う。

◇吉田常任幹事（岩手）

岩手も千葉同様に結果的にみんな県連が取ってしまった。

◇佐藤常任幹事（千葉）

千葉はもう一つ取った。指導員の派遣事業も取ってしまった。

（注：佐藤氏の漫才的発想の発言に会場は爆笑の渦になっていく）

◇半沢副会長（宮城）

連盟は取り上げるのではなく、行事を指導員会に積極的におろすことだ。

（注：東京都スキー指導員会では年末12月の指導員研修会を都連のオフィシャル行事として認可を受け、更に海外ツアーも同様の認可を受けている。シルバーに好評を博していると聞く。都連・県連との協調関係の構築にあるのでは。）

◇鈴木常任幹事（山形）

山形は集金システムとして選手強化費基金として積み立てている。

◇大沢副会長（神奈川）

神奈川は指導員の研修会費用は5千円。

◇吉田常任幹事（岩手）

赤本含んで5千円。

（注：指導員の登録料はクラブ会費との関連もあり各県様々だが、発言内容は良く理解出来なかった。会話では表現の問題もあり、各県の調査が必要に感じた。各人の思いが出ていてまとめが出来ない）

◇座長（東京）

西日本ブロックには再度加入を督促するようお願いして下さい。

◇水島幹事長（神奈川）

規約改正の必要性が提言されているので、NPO法人化を同時進行にしてはどうか。

◇渡辺副会長（千葉）

NPO化はもっと後でも良いのではないかと。

◇水島幹事長（神奈川）

次回の常幹のたたき台にするので、すぐに法人化

する話しにはならない。

◇大沢副会長（神奈川）

ブロック制の見直し、規約の見直しの二点に絞って検討してはどうか。

◇水島幹事長（神奈川）

協会に財源の確保を確実にする方法に、何らかの資格付与の認可の裏づけがないと、全国レベルでの加入は今後も厳しい状況になるのではないかな。

◇大沢副会長（神奈川）

S A J からマスター、ジュニア大会の公認を貰えないか。そして大会を行えば財源は確保できるのではないかな。

◇杉崎 S A J 理事（東京）

競技会を認定はするが、補助金など資金は出せない。

◇大沢副会長（神奈川）

競技大会は利益が出るので、財源の確保に有効だ。

◇水島幹事長（神奈川）

東北ブロックはこのような協会主催の大会に選手を送れる可能性がありますか、どうでしょうか。

◇鈴木常任幹事（山形）

東北は参加出る余裕がありません。但し開催行事の中に組入れることは出来る。

◇水島幹事長（神奈川）

収益の分配はどうか。

◇鈴木常任幹事（山形）

不可能と思う。

◇座 長（東京）

東北の行事にオープン参加は出来るのか、念願でもある。会議も同様だ。

◇鈴木常任幹事（山形）

個人での参加は可能と思うが、選手登録の問題もある。マスターズ大会について協会でも行いたいと発言したら、無理との見解であった。

◇大沢副会長（神奈川）

マスターズ大会の開催スキー場は平日は閑古鳥状況なので、引き受けてくれるのではないかな。

◇鈴木常任幹事（山形）

協会が主導権を取ってやれない状況と察する。

◇渡辺副会長（千葉）

本日の会議時間のこともあるので、冒頭に述べたように①財源確保の事業、②コミュニケーションを図る事業にわけて討論しましょう。

◇鈴木常任幹事（山形）

山形の会員の状況は脱会の理由や、行事に参加する様子もない。意識が稀薄であり、漫然と会報を受け取っている。会報は古い指導員にはうけている。この方々に個別の行事は支えられていると思う。

◇座 長（東京）

過日の総会の帰りに、新潟の宮澤副会長と話しをした。脱会を申し出ているが切り崩しを彼にやってもらいたい。

◇鈴木常任幹事（山形）

東北も県内で派閥があって難しい。一般的に消極的である。S A J に指導員会はないので、S A J から協会を認めてもらって、そこから脱会したところに切り崩しを図りたい。

スキー大学を協会におおせないか。協会の総会など会議の地域分散化を図りたい。会報を積極的に配ったら協会に興味をもつ者も出てきて効果があつた。

規約を会報に掲載してもらいたい。（注：23号会報に規約を掲載しています）

◇座 長（東京）

スキー大学を県単位に移すことは出来ないのか。

◇杉崎 S A J 理事（東京）

スキー大学は美味しい行事で、県単位に移行は考えられません。例えば「スキー大学院」（仮称）をつくり、S A J に話しを持っていくとかが考えられます。競技会では費用がかさみ利益は考えにくい。講習会なら儲かるのでは。大学院を協会に認可を採る申請は、協会の今後の実績を見て S A J に提起してはどうか。

◇阿部副会長（東京）

今まで多くの建設的な意見が交わされました。ここで当面の課題として規約の改定、個人会員の会費の設定等について討議されてはどうですか。

◇大沢副会長（神奈川）

草案の作成が一番でその後に具体的なところにはいって行きたい。

◇渡辺副会長（千葉）

法人化はもっと後で良いのではないかな。

◇座 長（東京）

法人化は協会の現状を良い方向に纏めてから来年の総会後にしたらどうか。

◇水島幹事長（神奈川）

総会に向けて法人化の準備をしながら、現在の規約を手直しする方向ではどうか。

◇大沢副会長（神奈川）

次期は役員改正もあるので西日本の方向性も変わるかもしれない。

◇水島幹事長（神奈川）

ところで S A J の新教程の発刊は近いのでしょうか。

◇杉崎 S A J 理事（東京）

旧執行部と新執行部の引継ぎがなされていない。

9月の評議員会で行われると推測します。

新教程は発刊の準備が整っておりますが、事情により今年度は発行されません。事務局の要望もあり協会には出来る限りの情報を提供しております。

◇座 長（東京）

S A J に協会担当を決めて貰えないものかな。

◇杉崎 S A J 理事（東京）

会長推薦理事4名の中から任命出来るはず。

◇鈴木常任幹事（山形）

協会のごたごたの脱会問題が解決してからの話しにしたい。

◇杉崎 S A J 理事（東京）

協会が S A J 登録会員減少に歯止めをかけるような施策を打ち出し、協会を利用することが S A J に多大なメリットを与えるのであれば座長の要望も可能になると思います。

◇佐藤常任幹事（千葉）

当面の打開策として、手弁当で新潟や群馬などに出向いて、再加入の談判を試みてはどうか。

◇渡辺副会長（千葉）

一度機関決定したものを組織に行っても無理、昔の仲間にあつて相談することになる。

◇座 長（東京）

規約改正の後で行うことになるのでは。

◇片岡顧問（神奈川）

悠長なことではなくて、早速群馬にいった談判しないのか。

◇水島幹事長（神奈川）

群馬県指導員会については、つい最近文書が届き本日の会議に間に合った経緯があります。放置しているわけではなく、早速阿部副会長、水島幹事長で面談の相手を選定して、会いに行くことにします。また会報発行部数を予算に見合うように検討したい。子細については事務局に一任させてもらいたい。指導員協会か指導者協会かについての議論があります。如何でしょうか。

◇杉崎理事（東京）

S A J が指導員を指導者に変更した経緯がある。

◇水島事務局次長（神奈川）

日頃ロコミが大切と痛感しており、横のつながり

を重視します。一例として神奈川県指導員会の活動としてインドアスキーの例をあげ、約2年半で1000名の会員を集めた。ロコミの成果を披露した。

◇座長（東京）

本日の話し合いの結論は、①規約の改定、②脱会状態のブロックに再度の加入依頼の努力、③ブロック（各県）に帰って仲間とのロコミを通じて、熱いスキー談義をする。

事務局の皆さん方には大仕事をお願いすることになります。これらを通して来たる総会で少しでも変革した協会の姿を実現して臨んで頂きたいと祈念します。最後に日経新聞の例で、親が子供にこれから習わせたいスポーツの第一位がスキーという記事が掲載されていました。スキーの将来はそう悲観することではなさそうだと感じました。本日はご苦勞様でした、これで終わります。

<参考文献>

日本スキー指導者協会設立時の経緯について



合にがの当の合全れ突てなとれ的ながりのシJれ回話な絡員いでキつるこのらスス
格開出国時源い国ば支我も`等にい私`中ヤとたイしらをでこきしたまこ水びキキ去
のかて家こと組のない々の何の直者共噂にクSそん合な取あとな指がでにのに11る
身れお検れな織指ら棒のがにこ面にのさもしIのタイいいりるでこ導`に創日創指連十
分たり定とつ化導なに力感かとしとよがSてA時1がの合我あと員と`立本立導盟月
も検`教平たを員いなをじSをたつ噂Iおとでスなでつ々るはをもしさ学総員公三
何定総師行の計が`れ結らA綴てにさAりのあキさはてが`横かろれ生会会式十
等でてへしでろ横`る集れJりとは`を寄`関つ`れな団み`まにくいた会がの認日
Sあのであうのとよし`の合も`そ呼りS係たがたい結んSこつ全ろ`館`設知
Aリス移指ると連いうてな危わあ時のんのAが`蔵のかしなAとな国な`で東立に財
J`キ行導`い絡うにSん機せつに中で人J大当主は`なでJにぐの経こ行京準よ
に受1問員まうをこしAとのてては心`がの変時で第とけ横の喜組基過こわ`備る
拘検や題資た発取となJかよみ`断にそい組ギS開十いれの指ば織礎がにれお会日
束も1等格`想りがけのしうるそ片居れた織クAかーうば連導しがスあ至`茶な本



相互の意志の疎通と情報通達、コミュニケーションを計る上でその役割は大である。

日本スキー指導員会 会長 柴田信一

い幹に念あしつたて協我あ得思のいあにし共くみと導くかこけとなよつりど出がさ
感事尽ずるてつめお力々るなつ方るり取時感指てし員`!とに共がうて`が来出れ
謝の力る`一あにりすのといて向`り間は導もて受まとはにらなも自起上たると
皆さと全歩りも`る力すこもと`か組を得活`よ検た呼口い表当考よ由きつりも
お様れ共国づ時具メ役でれと`し`つんかが動横り者アぶをか面時えいになたしの
礼のたにのつ間体り割やば`やてこ出でけたをの認のン人開なにと方の脱い指てで
を大在`指進は的ツをれ`もり`れ来頂てい`連め4ケのけか出しもで会よ導`は
申変京こ導んかなト持る突し難Sかそく本でと絡て91共ばつして生はでう員長な
しなのの員でかこはちよ支そいAらうこ来あいをい%ト感メたてはれなきに制い
上ご指会のいつととたういんこJのなどのろつとながにはり`会二たいる自度間`
げ苦導報ごくてを呼いな棒などが指気が指うてつ単よ得ツ`をつ`か機由のかと
ま労員の理考も計ぶと方でも`必導が重導`もてこにれがトこ作のしと関に混かの
すを会発解え会画人考向あのを要員し要活し勿仲と資ばたはる問かいが入乱つ話
`思の行をでとしのえにるがりと会てで動か論良を格指`何なわ題しうあ`なてし

S A J 情報

平成21年度 全日本スキー連盟日本スキー指導者協会総会議事録より

- (1) 2008/2009教育本部行事(案)とカレンダー(案)が紹介された。下表 抜粋(その1・2)参照
詳細は <http://www.saj-edu.ne.jp/>
- (2) ナショナルデモ38名を認定。(コーチ3名含)
男子優勝 井山敬介(北海道)二連覇
女子優勝 松沢(旧姓嶺村)聖佳(長野県)
前人未到の7連覇達成
※SAJデモ50名を認定。出来るだけ地方からも選出した。
- (3) イグザミネーター23名、スノーボードデモ12名を認定
- (4) 検定会:指導員、A検、公パト、SB指導員ともに受検者が減少傾向にある。
- (5) 研修会・大会の参加者も減少
- (6) 検定会(指導員・準指他)県別会場別集計で減少傾向を解析
- (7) SAJ会員登録状況について
※年々減少傾向にあり、本年は10万名を切るのではないかと。歯止め対策が急務、資格維持の方策を検討中、SAJとスキー場が一体になって取り組まなければならない。
- (8) スキー級別バッジが新デザインに変更

S. A. J. 2008-2009 教育本部 スケジュール 抜粋 (その1)

スキー大学	第1会場:北海道:朝里川 第2会場:新潟県:上越国際	09.01.09(金) ~ 12(月) 09.01.15(木) ~ 18(日)
生涯スポーツスキー指導者講習会	第1会場:長野県:菅平高原 第2会場:岐阜県:飛騨高山	09.01.10(土) ~ 12(月) 09.01.15(木) ~ 18(日)
第23回学校スキー指導者講習会	講習会 長野県:菅平高原	09.02.05(木) ~ 08(日)
指導者検定会	第1会場)北海道:朝里川 第2会場)山形県:蔵王 第3会場)長野県:サンアルピナ鹿島槍	09.02.27(金) ~ 3.01(日)
A級公認検定員検定会	第4会場)福井県:朴の木平 第5会場)鳥取県:大山	09.02.27(金) ~ 28(土)

S. A. J. 2008-2009 教育本部 スケジュール 抜粋 (その2)

SAJ公認スキー学校 代表者会議	東京都	08.10.18(土)
ブロック技術員研修会	北海道 札幌国際 東北 蔵王温泉 北関東 鹿沢スノーエリア 南関東(1) 朝里川 南関東(2) 車山 甲信越 車山 東海・北陸 ウイングヒルズ 西日本 志賀高原熊の湯	08.11.28(金)~11.30(日) 08.12.05(金)~12.07(日) 08.11.28(金)~11.30(日) 08.11.28(金)~11.30(日) 08.11.28(金)~11.30(日) 08.12.03(水)~12.05(金) 08.11.28(金)~11.30(日) 08.11.28(金)~11.30(日)
第6回全日本スノーボード 技術選手権大会	調整中	調整中
SHARP第46回全日本スキー 技術選手権大会	長野県:白馬八方尾根 日韓交流事業:技選に招聘	09.03.10(火)~03.15(日) 09.03.10(火)~03.14(土)
中央研修会	群馬県:おイトワルド 尾瀬岩鞍	09.04.09(木)~04.12(日)

詳細は教育本部日程 <http://www.saj-edu.ne.jp/>

盛会裡に開催されました

第9回SIJカップフェスティバル

期 日 20年4月12日(土)

13:00滑走講習 20:00選手会/懇親会

20年4月13日(日) 10:00競技開始

場 所 白馬八方尾根黒菱ゲレンデコース

宿 舎 対岳館

第9回は去年に引続き、雪と花と温泉のスキーのメッカ長野県白馬村八方尾根でのフェスティバルで、地元観光協会、長野県スキー連盟、白馬八方尾根スキー学校の歓迎を受けた。今年度も雪上の会場は黒菱ゲレンデでの開催となった。

12日は晴で午後のゲレンデはザクザクであった。

4名のスキースクールの講師により、基礎講習班とポール講習班とに分かれ講習を受けた。圧倒的にポール講習班が多かった。

夕食後、スキースクール3階で選手会及び懇親会が行われ各団体間の交流を楽しんだ。

13日の大回転競技大会は曇りで、黒菱ゲレンデコース300mに閉門10のやさしいコースがセットされスノーセメントで固められたバーンを、64名が足前を競った。

終了後「うさぎ平109」のテラスにて表彰式を行い、各組3位までに賞状が授与され、全員に副賞が渡された。

県別参加者：東京都62 千葉県6 神奈川県7 長野県2 愛知県2 滋賀県1 北海道1 総勢81

成績（入賞者のみ）

組別		順位	氏 名		県連	クラブ	所要 時間
指導員 女子	9組	1	大明美代子	東京	八王子	0:26.52	
		2	内山 数子	東京	豊島区	0:32.95	
	7組	1	星田 慶子	東京	スキー同人イーグル	0:23.53	
		2	江口 忍	千葉	スキーボク千葉	0:24.35	
	6組	1	綿引 直子	東京	東久留米市	0:29.39	
	4組	1	阿久津光代	神奈川	大和同好会	0:25.74	
		2	宮野 祐子	東京	青梅市	0:25.79	
	3組	1	佐藤 伸江	東京	TPS	0:22.64	
		2	篠田 陽子	東京	TPS	0:22.91	
		3	鹿野 浩美	東京	TPS	0:23.66	
	2組	1	宇田川美花	東京	特別区	0:22.37	
		2	齋藤絵美子	東京	大田区役所	0:22.37	
3		毛利 雅子	東京	大田区役所	0:22.37		
マスターズ 女子	6組	1	今多 勝代	東京	武蔵野SC	0:29.82	
	5組	1	後藤万由美	東京	リハレテSC	0:21.59	
	3組	1	淵脇智香子	愛知	アロー	0:24.41	
	2組	1	大館千賀子	東京	リーゼン	0:25.32	
一般 女子	1組	1	土門つらら	東京	フロンティア	0:24.20	
		2	藤関 聡子	東京	リーゼン	0:25.94	
指導員 男子	11組	1	菅 秀文	東京	ヴェスタ	0:33.99	
		10組	1	馬場 和男	東京	小平市	0:29.80
	2		市川 文郎	東京	東京ガス	0:30.80	
	9組	1	滝沢 義信	東京	リーゼン	0:27.15	
		2	志岐 昭敏	東京	山小屋	0:28.92	
	8組	1	川上 渉	神奈川	横浜スポーツマン	0:22.20	
		2	小川 英夫	東京	小平市	0:24.73	
		3	茂内 稔	東京	東久留米市	0:25.22	

組別		順位	氏 名	県連	クラブ	所要 時間
指導員 男子	7組	1	西沢 正人	長野	大田市SC	0:22.37
		2	瀬川 宏史	東京	フロンティア・シー	0:26.03
		3	藤木 昇	神奈川	横浜同好会	0:26.08
	6組	1	山口正之	滋賀	西浅井SC	0:23.62
		2	佐藤義隆	東京	エイトマン	0:24.86
	5組	1	西沢正人	長野	大田市SC	0:20.73
		2	菅野信夫	東京	フロンティア	0:21.18
		3	西塚 彰	東京	多摩ニュータウン	0:22.58
	4組	1	磯山敏彦	東京	TPS	0:23.35
		2	山口雅久	千葉	ロデオフリースタイルSC	0:23.47
		3	大江政男	東京	リーゼン	0:25.53
	3組	1	宇田川公良	東京	特別区	0:21.65
		2	三橋 市郎	東京	三井造船	0:22.82
		3	打道 隆	東京	リーゼン	0:22.98
	2組	1	駒田 真吾	東京	リーゼン	0:22.44
2		人見亮三郎	東京	TPS	0:22.53	
3		大館 剛	東京	リーゼン	0:24.41	
マスターズ 男子	10組	1	佐々木正治	東京	東久留米市	0:29.24
	5組	1	後藤吉伸	愛知	リベルテSC	0:22.84
	4組	1	川田和昭	神奈川	大和同好会	0:25.28
一般 男子	1組	1	桜庭弘基	東京	リーゼン	0:23.56



【北海道】北海道スキー指導者協会

理事長 藤島 勝雄

北海道スキー指導者協会の歩み

北海道スキー指導者協会が昭和27年、「北海道一般スキー指導員会」として発足して57年の長い年月が経った。その間、活動が停滞・停止した時期もあったが、先人たちの努力により見事に蘇り現在まで続いている。

また、昭和14年12月、「日本スキー指導者講習会」として山形県五色温泉で始まった“指導員制度”なくして本協会の歴史は語れない。私どもはこの指導員制度「周年行事」を意義深いものと考え、平成元年に50周年を小樽おこばち山荘、平成11年には60周年を滝川で盛大に祝った。そして、来年は70周年を盛大に祝う準備を進めている。

これらを生み出し、継続してきた先人たちの労苦、歩みを後輩に伝えるのが私どもの役割と考え「北海道スキー指導者協会の歩み」を編纂することとした。その一部を抜粋して掲載します。

・指導者講習会（指導員制度）始まる

全日本スキー連盟は、昭和13年発行の「一般スキー術要項」をもとに、全国スキー講習会を開催し全国から3,660名が参加した。北海道関係では、札幌・小樽・旭川・函館・野付牛・倶知安・岩見沢の7会場で765名が参加した。

しかし、この「要項」に基づいて講習する人がいない。そこで新たに「指導者講習会」を開催することとした。この講習会に助手として参加した故柴田信一先生が、その前後の模様を“指導員制度50周年記念講演”の中で次の様に語った。

「第1回の養成講習会は検定会の名はついてなかった。私は技術員などの役員ではなかったで、本来そこに行くべき立場ではなかった。高橋次郎先生が『一般スキー術要項は出したが、教える事がマチマチで、教える形・スタイルは別々で困る。12月に新しい指導者をつくるから手伝ってくれ』（中略）10人ほど合格証を受けましたが私は無かった。翌年の年鑑の端の方に合格番号28番と載った。昔から全日本は色々と不合理なものがあるんですね。」

第1回 指導者講習会

昭和14年12月21日～23日 五色温泉

委員長 高橋次郎 北海道関係委員 山田勝巳
長田光男 稲葉忠七 杉村鳳次郎 藤沢伸光
(助手) 柴田信一 全国から64名受講し11名が合格、そのうち北海道は3名。

これ以降、北海道でも「指導者検定会」が開催され15年度小樽天狗山15名合格、16年度札幌荒井山7名合格、17年度小樽・樺太2会場で計18名合格。しかし、これ以後戦争のため中断した。

21年度小樽天狗山で「一般スキー指導者検定講習会」が再開され、戦時中の有資格者の再確認を含めて27名が合格した。

24年度、小樽・天狗山会場で指導員に合格した本協会坂井敏夫現会長が、当時の模様を次の様に語っている。

「27歳の受検資格が出来て直ぐの受検だった。年一回の3日間検定で単位制ではなかった。全道から60人の受検者があり、北見から受検した私は17人の合格者の中に入った。旭川の故速水潔前会長と一緒に合格した。理論テストは、“雪質とスイングの関係につ

いて述べよ”であった。私は“湿雪時はスイングを強く、粉雪時はスイングを弱く”を図表で示し、模範解答として柴田検定員長に取り上げられた。」

25年度、北海道スキー連盟がSAJに先んじて「基礎スキー技術委員会」を発足させ、次の方々が役員に名を連ねている。

北海道基礎スキー技術委員会

委員長 柴田信一

委員 藤沢伸光 山本宇明男 栗林薫 伊藤二郎
南波初太郎 高橋貞助 内山拓治 佐藤哲郎
松村俊三郎 西島英雄 宮崎兼光 山崎久雄
坂井敏夫 清水清作 葛西儀四郎

26年度にSAJは、「指導者」を「指導員」と呼称を変更する。全国の指導員数208名で、内訳は北海道69 東京12 新潟31 長野22 東北19であった。

・北海道一般スキー指導員会発足する

いよいよ、指導員会の誕生である。この誕生の経緯を故栗林薫先生が自著に記している。

「25年、基礎スキー技術委員会を発足させて、北海道スキー連盟サイドとしてスキー行政に対応しているが、技術委員会の限られた僅かなスタッフに対して、年々指導員の合格者が激増していくので、全指導員のつながりを何とか考えなければと内々話し合っていた。27年になると、指導員の数も約100名近くになり、『北海道一般スキー指導員会』を組織することになった。これはあくまでも親睦団体であって、会員相互の和を深めることが目的であったが、当初は、いわゆる政・指未分化であった。道連一般スキー技術委員会のスタッフがほとんど指導員会の役員を占めていた。」

一般的に、柴田先生が初代会長とされているが（そういう記述もある）、全日本及び道連の基礎スキー技術委員会委員長に就いていて多忙だったため、故高橋貞助先生が初代会長であった。

北海道一般スキー指導員会

(昭和27年10月1日発足)

会長 高橋貞助 副会長 山本宇明男

顧問 伊藤二郎 南波初太郎

幹事 栗林薫 新妻正一 清水清作 村田吉雄

佐藤兼蔵 二瓶康典 野村治平 宮武勝見

上田嘉一

31年度、全日本スキー連盟は“準指導員制度”導入し、北海道では32年2月・3月、札幌・小樽・旭川の3会場で準指導員検定会が開催され、70名の準指導員を生み出した。これによって北海道の準・指導員の総数は232名となった。

・昭和34年度代議員会

34年度代議員会は、35年3月20日朝里温泉で開催、17支部の代議員が出席し次のことが審議された。

事業内容、予算の使い方を見ると、全日本・道連の技術委員会との密着の度合いが如何に強いかがうかがわれる。

- ・事業計画案
 - 1 北海道冬山スキー指導者講習会
 - 2 北海道一般スキー技術委員会行事の実施
(道技術委員会のヒンターランドとして実施)
 - 3 機関紙の発行
- ・予算案
(収入) 134,600 円 会費 200 円×473 人
入会金 500 円×80 人
(支出) 全日本一般委員会・全日本代表委員会・
全道技術委員会への旅費補助に予算の
1/3 を計上
- ・役員
会 長 伊藤二郎
副会長 高橋貞助 西島英雄 千葉毅
顧 問 柴田信一 山本宇明男 南波初太郎
美濃秀 葛西儀四郎 天近豊蔵 富田清
幹事長 宮崎兼光
幹 事 音喜多一二 西田照人 中村一郎
佐藤義矩 佐伯正 中島鉄雄 稲村礼
今村源吉 伊藤俊雄 後藤光一
監査員 新妻正一 小松重夫

・機関誌シュプール創刊号発行

昭和27年、指導員会発足以来懸案であった機関誌が、ようやく35年12月20日に発行された。

伊藤二代目会長の巻頭言、宮崎幹事長の編集後記から創刊の喜び、労苦が伝わってくる。

創刊号の掲載内容は、圧倒的に全日本・道連関係のものが多く、これは前述のように「北海道一般スキー技術委員会」のほとんどの役員が指導員会の役員を兼ねていたためと思われる。

また、研究発表は特に技術関係が多く「オーストリアスキー教程を読んで」「アンギュレーションについて」「スキー指導システムに於けるボーゲンの位置」等が掲載されている。

シュプール創刊号

— 体 裁 —
 ・A5版 右綴じ縦書き 86ページ
 ・表紙薄水色 シュプールの字形は現在と同じ
 — 掲載内容 —
 < 指導員会関係 >
 ・代議員会報告 規約 役員名簿 広告 研究発表 (随筆、感想、スキー場紹介) 20名が執筆
 < 道連関係 >
 ・規約 役員名簿 一般スキー技術委員会報告
 < 全日本関係 >
 ・全日本一般スキー委員会報告 検定規約改定 (準・指導員、バジテスト)
 — 会報発刊について — 会長 伊藤 二郎
 最近スキーが盛んになるにつれて、一般スキー指導員の数も非常に増加し、北海道には現在指導員、準指導員約500名がいます。これら指導員の数が増加すると共に何かと連絡がとりにくくなり、会員相互の緊密さに欠けてきたので何か良い方法がないかと思っていたところ、会報発刊の運びとなり誠に喜ばしく、一日も早く手にとって見たいと思つた次第です。
 — 編集後記 — 幹事長 宮崎 兼光
 北海道の指導員会も会員473名を数える大所帯となつて、会としての組織立ても新しくなつた。此の度、総務として仕事らしいものと考え従来懸案の機関誌を発刊することを思いつた。これは、幹事音喜多氏の熱意からなる種々のお膳立てによることと、編集を引き受けて頂いた田中・中村・西田・野田頭諸氏の献身的努力によるものだ。

「シュプール」の発行により指導員会活動は活発化していくが、長くは続かなかつた。道連教育部の膨大化、活動の活発化により、指導員会の活動の停滞・停止の時期を迎える。(以下次回へ)

学校スキー学習の実態を考える

SIJ幹事

中村啓二郎

ここ数年来、スキーの動向について憂慮されてきた。スキー連盟も、「アイ・ラブ・スノー」のキャンペーン等で効用を計っている。「底辺の拡大」を視点に、札幌での学校スキーの現状に注目してみる。

都市化が著しいこともあるが、中学校のスキー学習が、激減した。’08年度、98校中22校実施、22%どまりであった。しかし、小学校では、207校中90%以上、高校(市)では、8校中100%実施されていたので一応安心している。

中学校の問題点

1) 保健体育科時数減 2) 体育教師不足 3) 学校行事減 4) 経済事情等である。

この問題に対する緊急対策として、スキー連盟、各スキー場、市スポーツ部の協議により、中学校実施校にボランティア指導者の派遣を、’07年より行い、’08年は144名が参加した。なお、小学校は、地区P等により随時実施されている。

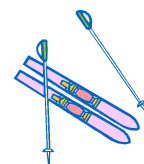
本来、積雪地の札幌では、冬期スポーツとして、生

涯スポーツの生活文化を築いてきたはずであったが、この2・3年で大きな変貌を見ることになった。しかし、何としても貴重な自然の恵みである雪と共生していく冬期スポーツの確立を目指したいと考えている。

そのために、スキー連盟の指導者は、スキーの特質である、快適性、娯楽性が満喫できる指導に取り組むことから再確認し、学習内容の中に、十分浸透していただけるような配慮をすべきと考える。学校での学習計画に対して綿密な連携と協力を提供すべきである。

しかし、現状では文部科学省での指導要領が基本にあり、相当の検討を要することが予想されるが、積雪地の地域性を生かすことの努力が要望されると考える。

あくまでも子ども達の興味付けが期待され、学校での学習計画に全面的に協力することから始めたいと考える。



【岩手県】岩手県スキー指導員会

会長 吉田 勇夫

「スキー指導員会のゆくえ」

今年の岩手は、二度の大地震に見舞われました。それぞれに大きな被害が生じ傷跡は深く残ったままで、特に心理面に於いて時間的流れがあっても癒されない状況が続いています。当スキー指導員会として、この場をお借りし、あらためて早期復興をお祈り申し上げます。

さて、地方自治体の平成合併は全国各地域でおこなわれていますが、スキー団体組織の合併については、上部団体との関わりや活動拠点の存在、独特の組織運営、それぞれの事情などが存在し、すんなりといかない難しさがあるだろうと思います。

そういう状況において、国が検討している「道

州制」は県スキー連盟単位においても他人事ではなく、将来的に統廃合の是非について論議する機会があるかも知れません。

こうしたなか、岩手は青森、秋田に隣接しているものの、両県の指導員会組織の有無が明確でないこともあり、この件に関しての心配は当面要らないようでもあります。

当会では、こうした「問題視」される状況を憂慮しつつ、会員の相互交流と結束を図るべく「'93世界アルペンスキー選手権大会」で賑わった「雫石」でのゴルフコンペや指導員会報の発行など、課題を抱えつつも粛々と活動を続けてます。



【宮城県】宮城県スキー指導員会

宮城県スキー指導員会事務局

平成22年度は、「宮城県スキー指導員制度70周年」を迎えます。

地球温暖化や雪不足及びスキー人口の減少が心配される中、近県のスキー指導員会との交流を図りスキー界への発展に努めています。また、宮城県スキー連盟と連携しながら、指導員の育成支援と親睦の輪を企画・協賛して

おります。

平成22年度は、「宮城県スキー指導員制度70周年」を迎えます。記念事業に向けて準備を進めております。今シーズンの行事予定は下記のとおりです。

平成21年度 事業計画

No	年 月 日	事 業 名	場 所	備 考
1	H20. 8. 23(土)	総 会	ホテル白萩	第1回役員会実施
2	H20. 8. 23(土)	交 流 会	ホテル白萩	
3	H20. 12.	講 演 会	実施せず	70周年記念事業
4	H21. 2	海外スキー研修	実施せず	70周年記念事業
5	H21. 3.	スキー・ボード準指 合格者入会受付	スキー：えぼしスキー場 ボード：オニコバネスキー場	
6	H21. 5. 下旬	日 指 幹 事 会	東 京	会長参加
7	H21. 6. 下旬	第2回 役員会		
8	H21. 7.	県連ゴルフ大会協賛	未 定	仙南地区担当
9	H21. 7下旬	日 指 総 会	東 京	会長参加

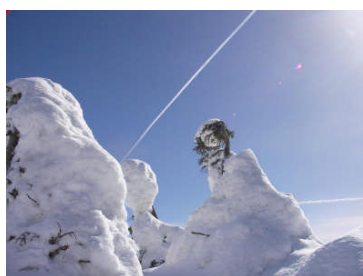
【山形県】山形県スキー連盟 教育本部指導会

SIJ常任幹事 鈴木 勘重

特に3月の蔵王スキー場での研修会は天候も安定していますので、
全山を滑りながらの研修になります。県外の皆さまのご参加をお待ちしてます。

平成21年度 山形県スキー連盟教育本部行事

行事名	期日	会場
指導員・準指導員研修会・クリニック(1)	H20.12.11(木) ～ 12(金)	蔵王スキー場
指導員・準指導員研修会・クリニック(2)	H20.12.12(金) ～ 14(日)	蔵王スキー場
指導員・準指導員研修会・クリニック(3) ※県外の方のご参加お待ちしております。	H21. 3. 7(土) ～ 8(日)	蔵王スキー場
県スキー技術選手権	H21. 1.30(金) ～2. 1(日)	蔵王スキー場
シニアスキー技術選手権大会 (オープン参加可、年代別の大会です)	H21. 1.30(金) ～2. 1(日)	蔵王スキー場
S A J 指導員検定会(第二会場)	H21. 2.27(金) ～3. 1(日)	蔵王スキー場



【千葉県】千葉県スキー指導員会

副会長(広報担当) 金澤 鉄造

雪なし県の千葉県としては、せっかく取得した指導者資格も利用価値が少ないと言われる。ライセンスを無駄にしない、の合言葉で再スタートした指導者派遣事業も3年目となり、高杖スキー場や猪苗代スキー場等に多数の指導者を派遣してまいりました。

今後も需要者の掘り起こしや、指導者の登録増に努めて参ります。

これらの活動を通じて、スキーヤーの掘り起こしや、ひいては、スキー界の活性化に寄与したいと大望を抱いております。

平成21年度行事予定

○第36回総会 会期：平成20年11月8日(土) 会場：フローラ西船橋	平成20年度事業報告/決算報告 平成21年度事業計画/予算 役員改選 ・講演会の開催(総会終了後) テーマ：山とスキーについて 講師：金澤 鉄造(日本山岳文化学会企画部長) ・準指合格者歓迎会及び親睦会の開催
○広報活動	・会報「わかしお」40号の発行 (発行日 平成20年10月1日予定)
○指導者バンク	・指導員の登録・派遣事業
○第3回S I Cステップアップ講習会 会期：平成21年3月7日(土)～8(日) 会場：小海リエックススキーバレー	講 師：本間 尚(元S A J デモ、専門技術員)
○準指導員検定への役員派遣	・指導員会への入会手続き他
○親睦ゴルフ大会の開催	期日：スキーシーズン終了後 会場：県内のゴルフ場
○販売活動 ・ネームプレート ・S I J キャップ ・ワッペン他	

【東京都】東京都スキー指導員会

幹事長 和田 守義

創立40周年で飛躍の年へ

今年度、当指導員会は創立40周年を迎えます。これもひとえに永年わたる皆さま方の暖かいご支援ご協力のたまものと深く感謝申し上げます。

私たちが、こよなく愛するスキーにとって、今その環境は大きく変化し多様化してきております。当然のことながら私ども指導員会に期待される役割もまた大きく変化しようとしています。

私たちは、40年の伝統の大切なものは守りつつ

変化に対応し要望に応えるべく新しい可能性に挑戦していきたい。そしてスノースポーツを中心とした楽しい人の輪が大きく膨らんでいけば、と切望いたします。

そんな想いで企画いたしました今年度各事業の実施に当たりましては、関係各方面の皆様方の絶大なご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年度 行事要項

	行事名	実施時期	実施場所	講師 他
1	スキーセミナー 最新のSAJスキー技術について	H20.9.27(土) 18:30~21:00	なかのZERO 小ホール	SAJナショナルデモンストラーター 佐藤久哉講師
2	親睦ゴルフ大会	H20.10.1(水)	都カントリー倶楽部	
3	創立40周年記念事業	H20.10.11(土) 15:30~16:00	スクワール麹町	
4	平成21年度結団式	H20.10.25(土)~26(日)	白馬五竜スキー場 「シェーンヴァルト」	
5	スキー講座 平成21年度検定の傾向と対策	H20.11.12(水) 18:30~21:00	なかのZERO 小ホール	SAT資格委員会委員
6	指導者研修会時の親睦会	H20.12.12(金) 18:00~	SAJ研修会 朝里川会場 小樽「青塚食堂」	夕食&親睦のタベ
7	指導員受検のための特別研究会	H21.1.24(土)~1.25(日)9 :00~16:00	サンアルピナ鹿島槍スキー場 「セントラルプラザ」	SAT資格委員会委員 現地スキー場講師
8	第28回東京都スキー指導員会 フェスティバル	H21.2.14(土)~2.15(日)8 :00~16:00	菅平高原スキー場 「まるみ山荘」	基礎トレーニング 技術選手権と大回転競技 の複合競技大会
9	準指導員合格のための 技術研究会	H21.2.20(金)~2.22(日)9 :00~16:00	菅平高原スキー場 「すずもと」	SAT資格委員会委員
10	都民大会、クラブ対抗 行事支援	H21.2.28(土)~3.1(日)	菅平高原スキー場	温かい飲物をご用意して、 リラックスして競技にチャレン ジしていただきます
11	第2回 テクニック キャンプ オーストリアスキーアカデミー 単位認定事業	H21.3.6(金)~3.8(日) 9:00~16:00	白馬五竜スキー場 「シェーンヴァルト」	リッチーベルガー
12	準指導員検定会 行事支援	H21.3.14(土)	菅平高原スキー場	温かい飲物をご用意して、 リラックスして 受検していただきます
13	テクニカル・クラウン プライズテスト	H21.3.20(金)~3.22(日)8 :30~16:00	菅平高原スキー場 「天狗ロッジ」	エーデルススキークラブ
14	指導者研修会 L会場	H21.4.2(木)~4.8(水)	アメリカ ベイル	東京都スキー連盟委託事業
15	準指導員、指導員合格者歓迎会	H21.6 中旬予定	薬業健保会館	

東京都スキー指導員会ホームページ <http://www.ski-instructors-tokyo.jp/>

【神奈川県】 神奈川県スキー指導員会

会 長 榎本 勝雄

スキーは楽しい。そして上手くなればもっと楽しい。指導員会は楽しくなければ意味が無いと思います。スキーを通して新しい仲間が増え、人生の感動の場が増えていく。これから指導員を目指す人も巻き込んで、県連とも協調しながら進んで行く指導員会でありたい、と考えています。

今年度の活動も去年に引続き、会員と切磋琢磨できる楽しいスキーライフを提供するために幹事一同、行事や講演会の工夫に知恵を絞っています。

情報交換も兼ねた総会と懇親会、楽しくリラックスできる温泉スキー、定番のスキーヤーズ大会とフェスティバルなどを計画致しました。スノーヴァ新横浜を支援して、子供たちに楽しいスキーを教え将来のスキーヤーに育成するきっかけも継続拡大してまいります。各行事とも皆様のご参加をお待ち申し上げます。

神奈川県スキー指導員会 2008-2009年行事要項

行 事	行 事 名	期 日
1 .	第77回親睦ゴルフコンペ（秋季大会）	H20. 10/16
2 .	雪上トレーニング講習会	H20. 12/13-14
3 .	草津 スキーと温泉を楽しむ会	H21. 1/12-15
4 .	片品 スキーと花咲温泉ツアー	H21. 2/1-3
5 .	第28回オール神奈川スキーヤーズ大会	H21. 2/14-15
6 .	エンジョイスキー i n 小海	H21. 3/5-7
7 .	ハンターマウンテン塩原	H21. 3/15-17
8 .	第25回指導員会フェスティバル	H21. 4/4-4/5
9 .	第78回親睦ゴルフコンペ（春季大会）	H21. 5/20
SV1	ジュニアスキー教室（スノーヴァ新横浜）	毎月第4土曜日
SV2	ジュニアスキー教室（菅平）	H21. 2. 予定

※SV1, 2 : スノーヴァ新横浜支援行事

神奈川県スキー指導員会のホームページ URL <http://sik.arts-k.com>

日本スキー指導者協会 常任幹事会・総会 写真



平成20年度第2回常任幹事会 '08. 6. 7



平成21年度第1回常任幹事会 '08. 7. 27



平成21年度総会・懇親会 '08. 7. 27



平成21年度総会・懇親会 '08. 7. 27

(財)全日本スキー連盟日本スキー指導者協会

平成20年度 第2回常任幹事会 議事録

日時 平成20年6月7日(土)11:00～14:00

場所 スクワール麴町 TEL 03-3234-8739

東京都新宿区西新宿3-15-5-419 〒102-0093

出席者 (順不同敬称略)

名誉役員 林 権一 片岡春夫

副会長 坂井敏夫 渡辺 忍 半沢 進 阿部雄三

大澤佑吉

常任幹事 藤島勝雄 吉田勇夫 鈴木勘重 佐藤昭蔵

山崎一正 水島秀夫 藤木 昇

監査 榎本建司 長澤光雄

特別幹事(SAJ理事) 杉崎壽三男

委 任 田 英夫 綱川千夫 宮沢一英 古賀健一

事務局 小笠原健一

高橋イキエ、水島三千夫、大宮秀高

1. 開会の辞 阿部副会長

2. 会長挨拶 坂井副会長(田会長代行)

47000の仲間に向きあふ働きかけが必要、高齢化に我々も変わっていかねばならない、何か優遇策をとることで何時までも前進して欲しい、この会を法人化するなどは現会長に力になっていただけたと思う。低迷するスキー界に、皆さまの向きの提言を期待している。

3. 議長選出 議長に渡辺 忍副会長を選出

4. 書記指名 書記に藤木事務局長、水島事務局次長を指名

5. 議事録署名人選出 半沢 進 佐藤 昭蔵を選出

6. 議事運営の確認

渡辺 忍議長より資料により議事運営について確認

7. 平成20年度概況報告 水島幹事長

別紙資料により報告説明:

1) 一般報告

(1) 事業別概況報告: 別紙添付資料に基づき説明

藤木事務局長

① H20年度第1回常任幹事会、総会、懇親会

7/21 55名 ルポール麴町

② 第14回SIJ親睦ゴルフ大会

H19 9/16-17 94名 那須チサンCC

③ 会報第23号の発行

H19 11/1 25,000部発行

④ 第7回みんなで行こうスキー大学

H20 1/11-14 16名 朝里川温泉スキー場

⑤ 第9回SIJカップフェスティバル白馬

H20 4/12-13 81名 白馬八方尾根スキー場

2) SAJ報告

杉崎壽三男特別幹事(SAJ理事)より報告

(1) 2008/2009教育本部行事(案)とカレンダー(案)について7/13の評議員会決定前であるが(案)として紹介された。

(2) ナショナルデモ38名を認定。(コーチ3名含)

男子優勝 井山敬介(北海道)二連覇

女子優勝 松沢(旧姓嶺村)聖佳(長野県)前人未到の7連覇達成

※SAJデモ50名を認定。出来るだけ地方からも選出した。

(3) イグザミナー23名、スノーボードデモ12名を認定

(4) 検定会: 指導員、A検、公パト、SB指導員ともに受検者が減少傾向にある。

(5) 研修会・大会の参加者も減少

(6) 検定会(指導員・準指他)県別会場別集計で減少傾向を解析

(7) SAJ会員登録状況について

※年々減少傾向にあり、本年は10万名を切るのではない。歯止め対策が急務、資格維持の方策を検討中、SAJとスキー場が一体になって取り組まなければならない。

以上の報告の後、役員定年制により、杉崎特別幹事はSAJ役員を辞退する旨の報告があった。

3) 会議、事業、本部会計収支報告

(1) 事業収支報告: 藤木事務局長

別紙添付資料により報告説明

(2) 平成20年度収支決算報告: 藤木事務局長

別紙添付資料により報告説明

以上の報告事項について、拍手にて賛意を問ひ承認

された。

8. 審議事項

1) 平成21年度事業計画(案)及び収支計画(案)本会計予算(案):

大澤副会長(事業担当)藤木事務局長

別紙添付資料にて説明提案

審議結果

① 第15回SIJ親睦ゴルフ大会は審議の結果、会場を埼玉県富貴ゴルフ倶楽部に、期日を

H20.9.9(火)で了承した。

② 第10回S I Jカップについては、開催地を東北ブロック山形と北海道の2候補で検討した。

北海道を有力候補とし、開催日程を3月末から4月下旬までの間として、キロロ・ニセコなど現地の都合や北海道ブロックの日程調整を含め総会までに詰めることとした。

③ 平成21年度本会計予算(案)について

: 藤木事務局長

別紙添付資料にて説明提案

予算案については、開催地が定まらないため事業費に変動の可能性はあるが本案で承認した。

2) 総会について: 藤木事務局長

平成21年度総会の開催について以下の提案があり承認された。

日 時 平成20年7月27日(日)

場 所 ルポール麴町 東京都千代田区平河町2-4-3

〒102-0093 TEL03-3265-5365

常任幹事会11:00～13:00(昼食時間含む)

総 会13:30～15:00

懇 親 会15:30～17:00

3) その他

① 第10回S I Jカップの開催地については、8. 審議事項1)にて一括審議

② SPオリンピックについて鈴木常幹から説明を受け、大澤事業担当よりシニア・ジュニアなどSAJからの委託も含め2～3年後を視野に検討してみる。

③ 会報発行日程の案内 水島幹事長

発行は10/1を予定している。

企画内容と原稿締切日・発行日程については後日書面にて依頼する。

④ 坂井副会長より

指導者の登録が減っている。70歳以上には名誉・優遇策など辞退者の歯止めが必要

また、最近の世界的な傾向としてオフシーズンとされている時期にウィンタースポーツの大会などが開催されている。ノルディックなどは街中に雪を運びコースを設け多くの人が観戦できる工夫もしている。日指の事業もオフシーズンに学会を開くなどオフシーズンの活用を検討してはどうかとの提言があった。

9. 提案事項

1) 各県提出書類による案件について: 特に提出案件なし。

2) その他: 特になし。

10. 書記解任: 以上を以て議事を終了。議長より書記を解任

11. 議長解任

12. 閉会の辞 半沢 進副会長

以上

以上の議事録を証するため下記に署名する

平成20年6月18日

議長 渡辺 忍 印

議事録署名人 半沢 進 印

議事録署名人 佐藤 昭蔵 印

(財)全日本スキー連盟日本スキー指導者協会

平成21年度 第1回常任幹事会 議事録

日時 平成20年7月27日(土)11:00～12:05

場所 ルポール麴町 TEL 03-3265-5365代

出席者 (名簿順敬称略)

名誉役員 菅 秀文 荒井哲夫 林 権一 片岡春夫

副会長 坂井敏夫 半沢 進 渡辺 忍 阿部雄三

大澤佑吉 宮沢一英

常任幹事 藤島勝雄 吉田勇夫 鈴木勘重 佐藤昭蔵
山崎一正 水島秀夫 藤木 昇
監査 長澤光雄
顧問弁護士 菅原哲朗
特別幹事 S A J 理事 杉崎壽三男

(東京都連盟会議と重複のため遅参)

傍聴 中村啓二郎 (北海道 幹事)
委任 田 英夫 綱川千夫 古賀健一 小笠原健一
榎本 建司

事務局 高橋イキエ 水島三千夫 大宮秀高

進行司会 水島幹事長

1. 開会の辞 阿部副会長

2. 会長挨拶 坂井副会長 (会長代行)

短い時間ですが前向きな発言で効率の良い議事進行を願います。指導員、会員、スキー場等年々減っている、スキーの仲間が減るのをなんとか止めなければならない、指導員をやめていく方が多い、何か資格を返上しなくても良い方策を S A J に要望したい。私自身は生涯指導員でありたいと心にかけている。なにか良い策のご提案があれば是非お願いしたい。

3. 議長選出 渡辺忍副会長を選出

4. 書記選出 水島事務局次長を選出

5. 議事録署名人選出 半沢進副会長、山崎一正常任幹事を選出
※議事にはいる前に顧問弁護士の菅原哲朗先生にご挨拶をいただきました。

ご紹介いただいた菅原です。スポーツ法を専門にしています。水連(千葉ず)のトラブルやサッカーのドーピング問題など日本のスポーツ界も事故、トラブル、紛争など様々な問題に対処してきている事例を紹介、私自身スキーヤーとしては一市民です今後ともよろしくお願いします。

6. 議事運営の確認 渡辺忍議長より資料により議事運営について確認

7. 平成20年度概況報告 水島幹事長

別紙資料に、現況を補足し報告説明した。

1) 一般報告

(1) 事業別概況報告: 別紙添付資料に基づき説明

(藤木事務局長)

先の(6/7)幹事会で報告した通りであり、詳細は省略。

2) S A J 報告

杉崎壽三男特別幹事(SAJ理事)は都合により遅参、前回報告済であり時間の関係から以下の事項は総会での報告に代えることにした。

(1) 2008/2009教育本部行事(案)とカレンダー(案)について

(2) ナショナルデモ38名を認定。(コーチ3名含)

技術選について男子優勝井山敬介(北海道)二連覇

女子優勝松沢(旧姓嶺村)聖佳(長野県)前人未到の7連

覇達成 ※S A J デモ50名を認定。出来るだけ地方からも選出した。

(3) イグザミナー23名、スノーボードデモ12名を認定

(4) 検定会: 指導員、A検、公パト、S B指導員ともに受検者が減少傾向にある。

(5) 研修会・大会の参加者も減少

(6) 検定会(指導員・準指他)県別会場別集計で減少傾向を解析

(7) SAJ会員登録状況について

3) 会議、事業、本部会計収支報告 藤木局長

前回報告済のため詳細は省略

(1) 事業収支報告

別紙添付資料により報告説明

(2) 平成20年度収支決算報告

別紙添付資料により報告説明

4) 監査報告 長澤監査より適正である旨報告あり

なお、参考資料として現預金・領収書・会計簿の写しの提出要請があった。

以上の報告事項について以下の討議の後、議長より賛意を問う拍手にて承認された。

(主な討議内容)

問: 今回、脱退の意志表示をしているブロック、県について、会費が未納になっているが、このままで良いのか?

意見: 名誉誉会長より、任意団体であり請求権限はない、法人化するしかないのでは。

要望: 宮沢副会長より新潟県の経緯と実情を説明しご理解をいただきたいとの要望がだされた。発足当時は、故藤巻氏など著名な役員が上・中越を中心に活躍されており、指導員会にも力を傾注していたが、現在は下越に新潟県の活動主体が移っており発足当初の趣旨が継承できていない、若手との断絶もあり現時点で、過年度分の会費累積未納分の支払いは無理であることをご理解いただきたい。

提案: 議長より、新潟県だけの問題ではなく日指の組織運営根幹に触れる課題であると思われるので別途、日指の組織運営に関する会議を開催し討議することにし、この件について議長提案で結論を保留にすることを提案、了承された。

8. 審議事項

1) 平成21年度事業計画(案)及び収支計画(案): 大澤副会長別紙添付資料にて説明と提案

①前回保留の第10回S I Jカップは、諸般の事情から北海道ルスツでの開催とし予算化した。

②その他は前回通りとして提案

2) 本会計予算(案)

平成21年度本会計予算(案)について: 藤木事務局長

別紙添付資料にて説明と提案

以上の事業計画(案)、予算(案)について審議の結果、承認された。

3) その他

①会報発行の日程の案内 水島幹事長

発行を1ヶ月早め10/1を予定している。

再度、原稿の提出へのご協力をお願いした

②荒井顧問より

組織改革について、創設時に取り入れたブロック制を地域制にするなどの発言があったがこの件については先に別途会議で討議することになっているので今回は意見交換を保留とした。

9. 書記解任: 以上を持って議事を終了。議長より書記を解任

10. 議長解任

11. 閉会の辞 省略

以上の議事録を証するため下記に署名する

平成20年8月19日

議長 渡辺 忍 印
議事録署名人 半沢 進 印
議事録署名人 山崎 一 正 印

(財)全日本スキー連盟日本スキー指導者協会

平成21年度総会議事録

日時 平成20年7月27日(土) 12:15~12:50 総会

出席者 (名簿順敬称略)

名誉役員 菅 秀文 荒井哲夫 林 権一 片岡春夫 浦江 直

副会長 坂井敏夫 半沢 進 渡辺 忍 阿部雄三 大澤佑吉

常任幹事 藤島勝雄 吉田勇夫 鈴木勘重 佐藤昭蔵 山崎一正

水島秀夫 藤木 昇

幹 事 中村啓二郎 安部英夫 庄司高士 荻野恒夫
高橋イキエ 水島三千夫
監 査 長澤 光雄
特別幹事 S A J 理事 杉崎壽三男
委 任 田 英夫 綱川千夫 宮澤一英 古賀健一 小笠原健一
榎本建司 丸山恭一 大熊忠男 宮園 節 小林 賢
藤原芳春 中村正良

顧問弁護士 菅原哲朗

事務局 藤木 昇 高橋イキエ 水島三千夫 大宮秀高
定足数報告 水島秀夫幹事長

H 20.7. 27現在 定数32名(出席20名 委任12名)過半数超
本会規約第20条により総会は成立しております。

1. 開会の辞 阿部副会長
2. 会長挨拶 坂井副会長(会長代行)

田会長に代わって挨拶いたします。この団体は任意団体ではありますが、指導者として責任ある者の集まりであり、単なるスキー愛好者の集まりではない。資格は大事にしたいし終身大切にしていきたい。70歳を過ぎると資格を辞退する方が多く、指導者減少の一因になっている。指導者としての責任と誇りをもって、終身指導者として頑張ってください。

3. 議長選出 議長に渡辺 忍副会長を選出
4. 書記選出 書記に水島事務局次長を選出
5. 議事録署名人 半沢 進、 山崎一正氏を選出

※議事にはいる前に議長より菅原哲朗顧問弁護士を紹介、ご挨拶をいただいた。

菅先生とのご縁で顧問弁護士を引き受けることになりました。現在スポーツ界を含むあらゆる社団、財団の公益法人法が改訂になります。三法できまして、平成20年12月、今年の12月に一気にいろいろな問題が出て参ります。業態・業種に対していろいろな説明会をしています。ですから、組織問題というのは、いま一番新しく過渡期にあるとご理解いただければ良いと思います。

6. 議事運営の確認 渡辺議長より資料により議事運営について確認

7. 平成20年度概況報告 水島幹事長
別紙資料により報告説明：執行状況の概況を報告

1) 一般報告

(1) 事業別概況報告：

別紙添付資料に基づき説明(藤木事務局長)

- ① H20年度第1回常任幹事会、総会、懇親会

H19 7/21 55名 ルポール麴町

- ② 第14回SIJ親睦ゴルフ大会

H19 9/16-17 94名 那須チサンCC

- ③ 会報第23号の発行

H19 11/1 25,000部発行

- ④ 第7回みんなで行こうスキー大学

H20 1/11-14 16名 朝里川温泉スキー場

- ⑤ 第9回SIJカップフェスティバル白馬

H20 4/12-13 81名 白馬八方尾根スキー場

2) S A J 報告

杉崎壽三男特別幹事(SAJ理事)より報告

- (1) 近況報告：S A J の役員改選は7月の評議員会では結論が出なかった。秋の評議員会に持ち越すことになった。H21年度からスキー級別バッジが変更になる。

- (2) 別添資料にて報告

- ① 2008/2009教育本部行事(案)とカレンダー(案)

- ② ナショナルデモ38名を認定。(コーチ3名含)

技術選について 男子優勝 井山敬介(北海道)二連覇
女子優勝 松沢(旧姓嶺村)聖佳(長野県)前人未到の
7連覇達成 ※S A J デモ50名を認定。

出来るだけ地方からも選出した。

- ③ イグザミナー23名、スノーボードデモ12名を認定

- ④ 検定会：指導員、A検、公パト、S B指導員ともに受検者が減少傾向にある。

- ⑤ 研修会・大会の参加者も減少

- ⑥ 検定会(指導員・準指他)県別会場別集計で減少傾向を解析

- ⑦ SAJ会員登録状況について

※年々減少傾向にあり、本年は10万名を切るのではない。

歯止め対策が急務、資格維持の方策を検討中、S A J とスキー場が一体になって取り組まなければならない。

3) 会議、事業、本部会計収支報告

正誤表の案内を行った後

- (1) 事業収支報告： 藤木事務局長

別紙添付資料により報告説明

- (2) 平成20年度収支決算報告： 藤木事務局長

別紙添付資料により報告説明

4) 監査報告 長澤光男監査

監査を代表して長澤光雄監査から結果を報告

以上の報告事項について満場一致で承認された。

8. 提案事項

- 1) 平成21年度事業計画(案)及び収支予算(案)：
大澤副会長

別紙添付資料にて説明提案

- ① 第15回SIJ親睦ゴルフ大会

会場：埼玉県富貴ゴルフ倶楽部

期日：H20.9.9(火)

- ② 第10回S I J カップ

会場：ルスツ

期日：H21.3. 27(金)～29(日)

以上に事業計画(案)について満場一致で承認された。

- 2) 平成21年度本会計予算(案)について：藤木事務局長
別紙添付資料にて説明提案

以上の予算(案)について満場一致で承認された。

- 3) その他： 特になし

最後に議長より

S I J の在り方、形態もまちまちであるのでこの際、
常任幹事会等の会議を臨時に開催し組織の根幹につい

て討議することを報告し承認を得た。

9. 書記解任：以上を持って議事を終了。議長より書記を解任

10. 議長解任

11. 閉会の辞 半沢 進副会長

以上の議事録を証するため下記に署名する

付記：総会後の懇親会冒頭に、荻原健司参議院議員からの
メッセージを水島幹事長が代読した。(内容略)

平成20年8月19日

議長 渡辺 忍 印
議事録署名人 半沢 進 印
議事録署名人 山崎 一正 印

平成 20 年度 事業別概況報告

	開催年月日	事業内容	会場
1	H 19年7月21日 参加総数55名	H 20年度第1回常任幹事会、総会、懇親会 役員 29名 他26名	ルポール麹町
2	H 19年9月16日 ～17日 参加総数87名	第14回SIJ親睦ゴルフ大会 岩手県4、宮城県5、福島県16 千葉県4、東京都34、神奈川県24	那須チサンCC
3	H 19年11月1日	会報第23号 発行	25,000部
4	H 20年1月11日 ～13・14日 参加総数16名	第7回みんなで行こうｽｰ大学	朝里川温泉スキー場 朝里クラッセホテル
5	H 20年4月12日 ～13日 参加総数81名	第9回 S I J フェスティバル白馬 北海道1 千葉県6 東京都62 神奈川県7 長野県2 愛知県2 滋賀県1	白馬八方尾根スキー場 対岳館

平成 20 年度 決算報告書

1. 収入の部

(▲予算比減)

科目	予算額	決算額	内訳金額	予算比増減	摘要
繰越金	84,564	84,564		0	前年度より
年会費	3,767,000	860,500	810,000 50,000	▲2,906,500	本年度分 過年度分
会議費	300,000	320,000		20,000	
事業費	1,870,000	1,168,300		▲701,700	
用品販売費	20,000	16,240		▲3,760	
広告料	0	0		▲10,000	
雑収入	200	150,447		150,247	
合計	6,041,764	2,600,051		▲3,441,713	

2. 支出の部

(▲予算比減)

科目	予算額	決算額	内訳金額	予算比増減	摘要
会議費	450,000	435,414		▲14,586	
事業費	2,546,000	1,835,108		▲710,892	
用品加工費	0	0		0	
通信費	70,000	31,970		▲38,030	
事務費	70,000	38,850		▲31,150	
事務所借用料	50,000	50,000		0	
渉外費	50,000	14,918		▲35,082	慶弔（弔電、生花）
ホーム・ジ・費	60,000	60,315		315	
雑支出	10,000	0		▲10,000	
支出合計	3,306,000	2,466,575		▲839,425	
未収金会費予備費	2,560,000	0		▲2,560,000	
繰越金	175,764	133,476		▲42,288	
合計	6,041,764	2,600,051		▲3,441,713	

平成 21 年度 事業計画

	開催年月日	事業内容	会場
1	H 20年9月9日(火) 募集 80名	第15回SIJ親睦ゴルフ大会 参加費3,000円、ゴルフ会費9,000円	富貴ゴルフ倶楽部
2	H 20年10月 上旬	会報24号の発行 発行部数20,000部	
3	H 21年1月9日(金)～12日(月) 募集 20名	第8回みんなで行こうスキー-大学	朝里川温泉スキー場 朝里クラッセホテル
4	H 21年3月27日(金)～29日(日) 募集 140名	第10回SIJカップフェスティバル ルスツ 大会参加費 3,000円	ルスツリゾートスキー場

平成 21 年度 本会計予算

1. 収入の部

科目	予算額	前年予算額	内訳金額	増減	摘要
繰越金	133,476	84,564		48,912	
年会費	4,089,000	3,767,000	990,000 3,099,000	322,000	本年度分/21年度 過去未収分
会議費	350,000	300,000		50,000	
事業費	670,000	1,870,000		-1,200,000	
用品販売費	20,000	20,000		0	
広告料	0	0		0	
雑収入	200	200		0	銀行利息他
合計	5,262,676	6,041,764		-779,088	

2. 支出の部

科目	予算額	前年予算額	内訳金額	増減	摘要
会議費	500,000	450,000		50,000	
事業費	1,276,000	2,546,000		-1,270,000	
用品加工費	0	0		0	
通信費	70,000	70,000		0	
事務費	70,000	70,000		0	
事務所借用料	50,000	50,000		0	
渉外費	50,000	50,000		0	
ホーム・シ・費	60,000	60,000		0	
雑支出	10,000	10,000		0	
支出合計	2,086,000	3,306,000		-1,220,000	
未収金会費予備費	3,099,000	2,560,000		539,000	
予備費	77,676	175,764		-98,088	
合計	5,262,676	6,041,764		-779,088	

21年度行事スタート！

第15回S I J親睦ゴルフ大会東北会場実施報告書

9月9日、久々の秋日よりで朝から快晴。東北を含む6県総勢66名参加、プレーは62名17組で早朝7時15分開会式の後、アウト、イン7時30分同時スタート。遅参者もなく順調に開始しました。晴天の中、程よい風もあり暑さを感じない絶好のコンディションです。

ところが順調に戻ってくる筈がなかなか戻って来ません。返ってきた選手に聞きますと「ラフにボールが入ると全く分からない。長いラフの上に枯れた芝が載っていて見つからない」とのこと。ボールを使い果たした人も多く、ハーフに3時間もかかった組みもありました。数日前の大雨で河川敷のこのコースは冠水し、数

日間クローズで土砂を流して整備して間もないため、その間に伸びたラフに捕まっての大苦戦の結果だったようです。この結果表彰式が1時間半も予定より遅れ15時開始となりました。

成績は上位を千葉県が独占する形になりましたが、千葉県の参加が10人に満たないため団体戦の資格が無く、地元埼玉県が優勝しました。

表彰式では全員に賞品を授与する事が出来ました。協賛各社にお礼申し上げます。

天候も良く、怪我人も無く楽しい1日を過ごすことが出来ました。

ゴルフ大会 平成20年9月9日（火）集合7:00 スタート7:30 富貴ゴルフ倶楽部 0493-54-7511

コンペ参加者数 62名、総参加者数 66名（含むパーティー参加）

参加県 岩手県1、宮城県3、埼玉県23、千葉県4、東京都16、神奈川県19

各 賞 新ペリア方式採用

個人戦 男子の部						個人戦 女子の部				
順位	氏名	県名	グロス	ハンデ	ネット	氏名	県名	グロス	ハンデ	ネット
1位	新津 信行	千葉県	84	12.0	72.0	宮沢 貞子	千葉県	83	9.6	73.4
2位	神辺 孝	千葉県	81	8.4	72.6	釜屋恵美子	埼玉県	104	27.6	76.4
3位	山本 達夫	東京都	73	0.0	73.0	成田 紀子	東京都	102	22.8	79.2

団体戦	
1位	埼玉県
2位	神奈川県
3位	東京都

ベストグロス賞			
部	氏名	県名	グロス
男子	山本 達夫	東京都	73
女子	宮沢 貞子	千葉県	83

ニアピン 成田 紀子、宮沢 貞子

ドラコン 岡安 栄、山本 達夫

協 賛

田英夫事務所、富貴ゴルフ倶楽部、信州総合開発観光、ボーヤ、東京シスター 津田 弘
コトウ、日弘、ブリヂストンタイヤ東京販売、スキージャーナル
東京都スキー連盟 顧問 浦辻 直、千葉県スキー連盟 会長 渡辺 忍、
岩手県スキー指導員会 会長 吉田 勇夫、東京都スキー指導員会 名誉会長 阿部 雄三
神奈川県スキー連盟 顧問 片岡 春夫、



財全日本スキー連盟日本スキー指導者協会規約

第1章 総 則

- (名 称)
第 1 条 本会は、(財) 全日本スキー連盟 日本スキー指導者協会
(英文名 SKI INSTRUCTOR OF JAPAN、略称 S. I. J.) という。
- (事 務 所)
第 2 条 本会の事務所は東京に置く。

第2章 目的および事業

- (目 的)
第 3 条 本会は、スキー指導員相互の情報交換を活発にし、横の連携をはかり親睦と併せて資質の向上をはかることを目的とする。
- (事 業)
第 4 条 前条の目的を達成するため次ぎの事業を行う。
2. 会員の強化発展と相互の連絡融和を図ること。
3. (財) 全日本スキー連盟への協力。
4. 機関紙の発刊。
5. その他本会の目的達成に必要な事業。

第3章 会 員

- (会 員)
第 5 条 本会の会員は、S. A. J. 公認スキー指導員並びに準指導員により構成する各都道府県の団体を会員とする。
- (名誉会員)
第 6 条 本会に名誉会員を推薦することができる。
2. 名誉会員については別に定める規程による。
- (賛助会員)
第 7 条 本会の目的に賛同しその事業に協力する個人または団体を賛助会員とする。
2. 賛助会員については別に定める規程による。
- (会員の義務)
第 8 条 会員は原則として本会の行う事業に協力または参加するものとする。
2. 会員は別に定められた会費を納入しなければならない。
- (退 会)
第 9 条 会員が退会するときは、その理由を付し退会届を会長に提出しなければならない。

第4章 役 員

- 第 10 条 本会に次ぎの役員をおく。
2. 会長 1 名、副会長若干名、常任幹事若干名、特別幹事 1 名、監査 3 名、幹事各県 1 名。
3. 会長推薦による副会長、常任幹事、幹事を若干名おくことができる。
4. 幹事長 1 名、副幹事長 1 名。
- (役員の選任)
第 11 条 前条の役員は、総会で選任する。
2. 会長、監査は常任幹事会で推挙する。推挙の方法は別に定める。
3. 各ブロック(全国 7 ブロック)より副会長 1 名、常任幹事 1 名を各県は幹事 1 名宛選出する。
4. 特別幹事はSAJより派遣されたSAJ教育本部担当理事とする。
5. 幹事長および副幹事長は常任幹事会の互選による。
- (役員の職務)
第 12 条 会長は本会を代表する。
2. 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときは合議により会長の代行をする。
3. 常任幹事は、会務を施行する。
4. 特別幹事は常任幹事会および総会に参画し、SAJの指針および報告をする。
5. 幹事は、第 3 条の目的に応じた会の運営にあたる。
- (監査の職務)
第 13 条 監査は会議に出席し意見をのべる事が出来る。ただし議決に加わる事は出来ない。
次ぎの各号に定める業務をおこなう。
2. 財産の状況を監査する。
3. 業務執行の状況を監査する。
4. 監査の結果、必要があると認めたときは会長に総会を招集するよう要請することができる。
- (役員の任期)
第 14 条 役員の任期は 2 年とし、再任を妨げない。
2. 役員はその任期満了後でも、後任者が選任されるまでは、その職務を行う。
3. 補充または増員により選任された役員の任期は、現任者の残存期間とする。
- (役員の解任)
第 15 条 役員が次ぎの各号に該当したときは幹事現在数の 3 分の 2 以上の出席する総会に於いて出席者の 3 分の 2 以上の議決を経て会長がこれを解任することができる。
2. 心身の故障のため職務執行にたえられないと認められたとき。
3. 職務上の義務違反、その他役員にふさわしくない行為があると認められたとき。
- (役員の報酬)
第 16 条 役員は有給とすることができる。
2. 役員の報酬は、総会の議決を経て会長が定める。
- (名誉会長、名誉顧問、特別顧問、顧問、参与、会友)
第 17 条 本会に名誉会長、名誉顧問、特別顧問、顧問、参与、会友をおくことができる。
2. 名誉会長は本会の会長であったものを総会に図り会長が推戴し委嘱することができる。
3. 名誉顧問は本会の名誉会長であったもの、及び同等の功労のあった者を総会に図り会長が推戴し委嘱することができる。

4. 顧問は本会の発展に特に功労のあったものを総会に図り会長が委嘱する。
5. 参与は本会の常任幹事・監査として、特に功労のあったものを総会に図り会長が委嘱する。
6. 会友は本会の役員として、特に功労のあったものを総会に図り会長が委嘱する。

(局 員)

第18条 本会の事務処理を行うために中央事務局を置く。

2. 中央事務局の構成は次ぎの通りとする。
局長1名、次長2名以内、局員若干名。
3. 局長は会長が任命し、常任幹事とする。次長は幹事とする。
4. 局員は会長が任命する。
5. 局員は有給とすることができる。但しその報酬は常任幹事会の議決を経て会長が定める。

第5章 会 議

(総 会)

- 第19条 総会は会長以下、副会長、常任幹事、特別幹事、幹事、監査をもって構成し最高の議決機関とする。
2. 総会は会長が招集する。但し会長が必要と認めたとき、または幹事現在数の過半数から会議に付すべき事項を示して総会の招集を請求されたときは、これを30日以内に招集しなければならない。
 3. 総会の議長は会長もしくは会長の指名するものになる。
 4. 必要に応じて会長は、名誉会長、名誉顧問、特別顧問、顧問、会友、参与に出席を求める事ができる。

(総会の定数および議決)

- 第20条 総会は幹事現在数の2分の1以上の出席がなければ開催出来ない。
- 但し、委任状をもって他の幹事に委任したものは出席者とみなす。
 2. 総会の議決は、この規約の別段の定めがある場合を除き出席者（各県1票）の過半数をもって決し、可否同数のときは議長が決する。

(常任幹事会)

- 第21条 常任幹事会は、会長、副会長、常任幹事、特別幹事、監事をもって構成し会長が随時に招集する。また必要に応じて会長は名誉会長、名誉顧問、特別顧問および顧問に出席を求めることが出来る。
2. 常任幹事会は次の業務を処理する。
 - (1) 事業計画、予算の立案および執行。
 - (2) 規約、諸規程に関すること。
 - (3) 役員の選考に関すること。
 - (4) その他必要と認める事項。

(会員への通知)

第22条 通知の全ては原則として会員あて送付される。

(議 事 録)

第23条 総会および常任幹事会は議事録を作成し、議長および出席者の代表2名が署名押印の上これを保存する。

第6章 会 計

(会計年度)

第24条 会計年度は毎年6月1日より5月31日までとする。

(会 費)

- 第25条 本会の経費は次ぎの各号を以て充当する。
2. 年会費は会員数割りによるブロック単位とし、その金額は別表による。
 3. 寄付金 4. 補助金 5. 事業収入 6. その他の収入
- 別 表
- | | | | | | |
|---------|------|---------|------|----------|------|
| 北海道ブロック | 20万円 | 東北ブロック | 20万円 | 南関東ブロック | 20万円 |
| 北関東ブロック | 15万円 | 甲信越ブロック | 15万円 | 東海北陸ブロック | 15万円 |
| | | | | 西日本ブロック | 15万円 |

第7章 雑 則

(細 則)

第26条 本規約施行上必要な事項に関する細則は別に定めることができる。

細則の設置

(規約の改廃)

第27条 本規約の改廃は総会にて行う。

付 則	本規約は、	昭和58年10月30日施行	平成06年07月17日改正	平成11年07月18日改正
		昭和61年12月03日改正	平成07年07月12日改正	平成13年08月05日改正
		昭和62年08月23日改正	平成09年07月12日改正	平成15年08月02日改正
		昭和63年08月27日改正	平成10年07月19日改正	平成16年07月31日改正

(根 拠)

本規約の第26条に基づき諸細則を次ぎのように定める。

- 1) 第11条 2項の推挙について推挙委員会を設け次ぎのように定める。
 - (1) 推挙委員会は各ブロック1名の計7名による常任幹事で構成する。
常任幹事が欠席の場合、そのブロックの代表者で補充することができる。
 - (2) 推挙委員会は、会長、及び監査の任期満了前、及び必要に応じて開催する。
 - (3) 推挙委員会は、直ちに会長、及び監査に対して留任意思の有無を確認する。
 - (4) 留任の意思が表明された場合は、推挙委員会で協議し、認否を定める。
 - (5) 前項による協議の結果、必要な場合は各ブロックに対して、会長、及び監査候補者の推薦を求める。
各ブロックの推薦する候補者は各1名以下とし自他のブロックに拘らない。
- 2) 慶弔に関しては必要と認められるものについて、その都度会長の決裁による。

以 上

(財)全日本スキー連盟
日本スキー指導者協会 役員名簿 2007.6～2009.5

☆は会長推薦、役員空白部分は各ブロック・県の総会時期との関係で届出待ち。

名誉会長	菅 秀文	東 京 都	幹 事	中村啓二郎	北 海 道	道 県
特別顧問	丸山 庄司	長 野 県	〃		青 森 県	道 県
顧問	近藤 晃	北 海 道	〃		岩 手 県	道 県
〃	毛利 修三	北 海 道	〃		宮 城 県	道 県
〃	堀 恒也	山 形 県	〃		秋 田 県	道 県
〃	岸 英三	山 形 県	〃		山 形 県	道 県
〃	目崎 武美	群 馬 県	〃	安部 英夫	福 島 県	道 県
〃	福岡 孝純	東 京 都	〃		茨 城 県	道 県
〃	荒井 哲夫	東 京 都	〃		栃 木 県	道 県
〃	林 権一	東 京 都	〃	丸山 恭一	群 衆 県	道 県
〃	片岡 春夫	神 奈 川 県	〃	大熊 忠男	埼 玉 県	道 県
〃	次井 晨	新 潟 県	〃	庄司 高士	千 葉 県	道 県
参 与	宮本忠五郎	宮 城 県	〃	荻野 恒夫	東 京 都	道 県
〃	松谷 富彦	宮 城 県	〃	宮園 節	神 奈 川 県	道 県
〃	廣岡 和夫	福 島 県	〃	小林 賢	山 梨 県	道 県
〃	浦辻 直	東 京 都	〃	藤原 芳春	長 野 県	道 県
			〃	中村 正良	新 潟 県	道 県
顧問弁護士	菅原 哲朗	キース法律事務所	〃		富 山 県	道 県
会 長	田 英夫	東 京 都	〃		石 川 県	道 県
副会長	坂井 敏夫	北 海 道	〃		福 井 県	道 県
〃	半沢 進	東 北 道	〃		静 岡 県	道 県
〃	綱川 千夫	北 関 東	〃		愛 知 県	道 県
〃	渡辺 忍	北 関 東	〃		三 重 県	道 県
〃	阿部 雄三	南 関 東	〃		岐 阜 県	道 県
〃	大澤 佑吉	神 奈 川 県	〃		滋 賀 県	道 県
〃	宮沢 一英	新 潟 県	〃		京 都 府	道 県
特別幹事	杉崎壽三男	S A J 教育本部理事	〃		大 阪 府	道 県
常任幹事	藤島 勝雄	北 海 道	〃		兵 庫 県	道 県
〃	吉田 勇夫	東 北 道	〃		奈 良 県	道 県
〃	鈴木 勘重	山 形 県	〃		和 歌 山 県	道 県
〃	古賀 澄夫	北 関 東	〃		鳥 取 県	道 県
〃	小笠原健一	埼 玉 県	〃		島 根 県	道 県
〃	佐藤 昭蔵	千 葉 県	〃		岡 山 県	道 県
〃	山崎 一正	東 京 都	〃		広 島 県	道 県
〃	水島 秀夫	南 関 東	〃		山 口 県	道 県
監 査	榎本 建司	北 関 東	〃		香 川 県	道 県
〃	長澤 光雄	南 関 東	〃		徳 島 県	道 県
			〃		愛 媛 県	道 県
			〃		高 知 県	道 県
			〃		福 岡 県	道 県
			〃		佐 賀 県	道 県
			〃		熊 本 県	道 県

中央事務局

局 長	藤木 昇	神 奈 川 県
次 長	高橋イキ工	東 京 都
〃	水島三千夫	神 奈 川 県
局 員	大宮 秀高	東 京 都

事務局だより

SIJ事務局は総会決議事項の実行を主体に水島幹事長の指示で、事務局の幹事と東京近県の副会長、常任幹事、幹事を交え事務局会議を適宜開催しながら執行方法の決定や、会長への報告と方針についての打合せ、その他執行のお手伝いを行っております。

総務機能として各県役員または指導員会あての通知、会費納入のお願い、常任幹事会と総会の手配、議事録の作成、スポンサー募集とお礼状の発送、慶弔に関する連絡と手配、ワッペン等の販売を行っております。

特に会費の納入状況が芳しくないため、経費てきにも運営が苦しい状況になっています。

広報の機能として会報の企画編集、寄稿依頼と手作り発行、執行内容のホームページへの掲載維持等となっています。ホームページは会報と共に全国のスキー指導者の連携と一体感をかもしだすために重要な要件と考えています。是非皆様の投稿やニュース寄稿、ご意見の提供をお願いいたします。各役員の方々も各県の役員も兼ねている事から忙しさは相当なものです。

とはいえ、皆様と出会い、行事や会報によって会員の方々との連携を実感しながら、楽しみながら仕事を進めております。更に喜びの多いSIJとしていきたいとよろしくお願い申し上げます。

事務局員の担当は下記のようになっています。

事務局長 藤木 昇 常任幹事(神奈川)、事務局次長 総務担当 高橋イキエ 幹事(東京)、
事務局次長 広報担当 水島三千夫 幹事(神奈川)、事務局員 大宮 秀高(東京)

<< 事務局会議 >>

事務局会議 19/07/17 第1回
場所 日本橋 ロータス
出席者 阿部雄三、水島秀夫、
総会準備打合せ会議



事務局会議 19/10/19 第2回
場所 日本橋 ロータス
出席者 阿部雄三、水島秀夫、水島三千夫、荻野恒夫、長澤光雄
藤木昇、高橋イキエ、水戸屋紙工(株)塚本社長
会報23号最終編集、校正、発行部数等打合せ、年会費請求について



事務局会議 20/03/29 第3回
場所 川崎 松竹
出席者 阿部雄三、水島秀夫、佐藤昭蔵、山崎一正、長澤光雄
藤木昇、高橋イキエ
第9回フェスティバルの集客状況、プログラム内容とスケジュールの確認。

事務局会議 20/05/15 第4回
場所 横浜 神奈川県民センター並びに加登家
出席者 阿部雄三、大澤佑吉、水島秀夫、山崎一正、荻野恒夫、

会費納入のお願い

日本スキー指導者協会の運営は、全国各県の指導員会組織(SAJの各県連組織を含む)からの会費が基本になっております。皆様から頂く年額120万円の会費は全国の指導員への情報提供とコミュニケーションの場であるこの会報の発行とホームページの維持に殆んどが費やされています。

また滞納気味の県もあり当会の運営は財政的に非常に苦しい状況です。このような事情から誠に勝手ながら、本年度の会報発行に合わせ、会費未納の各県の指導員会事務所に請求書をお届けさせていただきますので、何とぞ年内納入にご協力頂きたく節にお願い申し上げます。

尚、既にご納付されました各位には心よりお礼申し上げます。

事務局長 藤木 昇

2008年度 関係団体一覧

北海道	0144-72-4060	藤島勝雄様方	大阪府	06-6975-2064	大阪府スキー連盟内
青森県	0172-48-3490	財団法人青森県スキー連盟内	兵庫県	078-802-0558	兵庫県スキー連盟内
岩手県	019-656-6655	財団法人岩手県スキー連盟内	奈良県	0743-67-0760	奈良県スキー連盟内
宮城県	022-375-9524	宮城県スキー連盟内	和歌山県	0736-73-3723	和歌山県スキー連盟内
秋田県	018-832-0563	秋田県スキー連盟内	鳥取県	0859-52-2290	鳥取県スキー連盟内
山形県	023-647-5020	山形県スキー連盟内	島根県	090-8998-1110	島根県スキー連盟内
福島県	0242-62-4504	福島県スキー連盟内	岡山県	086-801-9090	岡山県スキー連盟内
茨城県	029-221-7737	茨城県スキー連盟内	広島県	082-293-3230	広島県スキー連盟内
栃木県	028-622-3571	栃木県スキー連盟内	山口県	0834-22-6810	山口県スキー連盟内
群馬県	027-231-1966	群馬県スキー連盟内	徳島県	0883-82-6162	徳島県スキー連盟内
埼玉県	048-823-2710	埼玉県スキー連盟内	香川県	087-841-3818	香川県スキー連盟内
千葉県	047-751-2100	千葉県スキー連盟内	愛媛県	0898-24-0676	愛媛県スキー連盟内
東京都	03-3262-2491	財団法人東京都スキー連盟内	高知県	088-823-5331	高知県スキー連盟内
神奈川県	045-311-9807	財団法人神奈川県スキー連盟内	福岡県	092-503-6106	福岡県スキー連盟内
新潟県	0258-82-1680	財団法人新潟県スキー連盟内	佐賀県	090-5480-9320	佐賀県スキー連盟内
富山県	076-442-3110	富山県スキー連盟内	長崎県	0957-53-4266	長崎県スキー連盟内
石川県	0761-93-3542	石川県スキー連盟内	熊本県	0964-28-0028	熊本県スキー連盟内
福井県	0779-66-3411	福井県スキー連盟内	大分県	097-544-4015	大分県スキー連盟内
山梨県	0551-48-3171	NPO法人山梨県スキー連盟内	宮崎県	0986-52-1071	宮崎県スキー連盟内
長野県	026-264-5888	財団法人長野県スキー連盟内	鹿児島県	休会中	
岐阜県	0577-34-3133	岐阜県スキー連盟内	沖縄県	098-850-9273	沖縄県スキー連盟内
静岡県	054-252-3718	静岡県スキー連盟内			
愛知県	052-757-6277	愛知県スキー連盟内	全日本学生スキー連盟	03-3384-7913	
三重県	0593-94-6981	三重県スキー連盟内	全国高体連スキー部	0278-56-2310	
滋賀県	077-578-0945	滋賀県スキー連盟内	(群馬県立尾瀬高等学校内)		
京都府	075-692-3487	京都府スキー連盟内	全日本スキー連盟	03-3481-2315	

S.I.J.のホームページ <http://sij.arts-k.com/> へ是非お越し下さい。



《編集後記》

平成16年に規約が改正されてから4年が経過した。この間、経済情勢は一向に好転せず当協会も苦しい運営が続いている。先般の総会で、規約改正を含め抜本的な見直しを進める会議の開催が承認された。これを受けて、臨時会議が招集され、改革に向けての一步を踏み出した。スキーの指導者が横の連携により集う特性が「魅力」として受け入れられる方向に変革していくことを期待したい。M



INSTRUCTOR

日本スキー指導者協会会報 (第24号) (非売品) 平成20年10月1日発行
 編集人 編集委員会 発行人 田 英夫
 印刷所 水戸屋紙工株式会社 発行所 日本スキー指導者協会中央事務局
 〒160-0023 東京都新宿区西新宿 3-15-5-419
 TEL & FAX 03-3374-3855 E-mail ikie@nifty.com URL <http://sij.arts-k.com/>